

ITU-T SG5 会合(5/25-29) 課題別結果報告

資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q1-課報	Q.1 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q2-課報	Q.2 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q3-課報	Q.3 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q4-課報	Q.4 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q5-課報	Q.5 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q6-課報	Q.6 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q8-課報	Q.8 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q9-課報	Q.9 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q10-課報	Q.10 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q11-課報	Q.11 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q12-課報	Q.12 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q13-課報	Q.13 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-PLN-Q14-課報	Q.14 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP1&2-Q15-課報	Q.15 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q16-課報	Q.16 結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP3-Q17~21-課報	WP3 結果報告

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	EMC issues arising from the liberalization of telecommunications networks
Q. 1		和訳	通信ネットワークの自由化により発生するEMC問題
WP 2		ラポータ名 (所属)	Mr. Fantao MENG (Huawei, China) / Associate: Li XIAO (China)
課題の審議概要：			
<p>課題1では、通信の自由化によって発生するEMC問題として、電気通信網の相互利用（コロケーション、アンバンドリング）に関連するEMC課題の検討と既存勧告のメンテナンスを実施する。特にアンバンドリングの場合に問題となるケーブルの平衡度の測定方法等について検討する。</p>			
結果（全般的事項）：			
<p>新勧告草案K.lcl「LCLの測定法(9kHz～30MHz)」の最初の草案がTD178として、ラポータから提出された。これは、K.lclの骨格を提案したものであり、次会合までに草案を完成させることとなった。また、草案の作成にあたっては関連のIEC標準を参照し、考慮することが求められた。</p>			
提出した寄書の成果：			
提出寄書なし			
今後の課題：			
・国内規格との整合性のチェック等			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.lcl	新規	Method for measuring Longitudinal Conversion Loss (9kHz - 30MHz)	— (05-08 会期 C37)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：他国際機関での検討状況の確認と技術的な課題の洗い出し			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.58rev	改訂	EMC, resistibility and safety requirements and guidance for determining responsibility under co-located telecommunication installations	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			

審議結果及び今後の課題：無線装置のコロケーションの現状についての調査			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.10rev	新規	Low frequency interface due to unbalance about earth of telecommunicaiton equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012年			
審議結果及び今後の課題：特になし			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.59rev	改訂	EMC, resistibility and safety requirements in unbundled telecommunication cable	C.37
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012年			
審議結果及び今後の課題：特になし			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	EMC related to broadband access systems
Q.2		和訳	広帯域アクセスシステムに関するEMC
WP2	ラポータ名(所属)		Darren CARPENTER (BT, UK) / Associate:Victor VELLANO NETO (Brazil)

課題の審議概要：

課題2では、広帯域アクセスシステムによる無線への影響とその対策方法についての検討が行われている。前会期においては勧告K.60の改訂が完了している。今回の会合では、ITU-RからのK.60に対するリエゾン文書への対応や、広帯域アクセスシステムに対する対策方法を規定する勧告草案K.mitに関する審議が行われた。

結果(全般的事項)：

審議の結果は以下の通りである。

- ① ITU-R からの提案を受け入れ、K.60 はエミッションに対するクレームがあった場合の対処方法を記載した勧告であり、有線システムへの要件条件を記載した勧告ではないことを示す1文をSCOPEに追記することで合意された。また、K.60 は2001-2004 と2005-2008 の2会期にわたって改訂案が審議された勧告であり、今会期は検討を行わないという方針も合意された。
- ② 今会期は、K.mit に対する審議を最優先して行う。また、K.eun の合意予定は2009年となっているが、優先度はMEDIUMのまますることが確認された。

提出した寄書の成果：

提出寄書無し

今後の課題：

K.mitの審議においては、対策方法の技術的課題を洗い出すとともに、提案された対策方法について妥当性を検討する必要がある。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.pred	新規	Prediction method for emission from broadband signals transmitting in a cable	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011年			
審議結果及び今後の課題：予測方法についての技術的な検証			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mit	新規	Mitigation methodology for next generation access systems	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：対策方法についての技術的検証			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.eun	新規	Evaluation methodology for radiated emissions from plural broadband access systems under unbundled condition and Guidance for solving radio interference	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009-2010年			
審議結果及び今後の課題： 評価方法についての技術的検証			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Human exposure to electromagnetic fields (EMFs) due to radio systems and mobile equipment
Q. 3		和訳	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露
WP 2	ラポータ名 (所属)		Fryderyk LEWICKI (TP, Poland) / Associate:Tariq AL-AMRI (Saudi Arabia)

課題の審議概要：

携帯電話、無線システムのアンテナ周囲における電界強度の推定手順、計算方法、測定方法に関する検討を行う。今会合ではK.guideの草案を中心に議論が行われた。また、EMFに関するtechnical sessionも開催された。

結果 (全般的事項)：

審議の結果は以下の通りである。

- ① 前回会合での議論が反映された K.guide (EMF による人体の曝露の管理に関するガイドライン) の案が審議された。また、アダプティブアンテナに対する曝露評価、曝露量の計算値と測定値の比較に関する情報等の寄与文書が審議され、これらを盛り込んだ勧告案を次会期までに準備することとなった。
- ② 曝露評価の測定時間を短縮するための方法について議論が行われた。今後 K.guide に記載する文案について、e-mail で審議されることとなった。
- ③ 長期曝露の自動測定法に関して説明とデモンストレーションが実施された。本件を K.guide もしくは別の新しい勧告に盛り込むことについて、次会合で審議することが合意された。
- ④ K.52 (電磁界曝露基準のガイド) の Appendix I 表 2 の誤記に対する正誤表を発行することとなった。
- ⑤ K.70 (無線局近辺の電磁界曝露の対策法) の電磁界解析ソフトウェアの記載 (付録) が修正されることとなった (インストール手順や評価例)。

提出した寄書の成果：

提出寄書無し

今後の課題：K.guideの内容に、国内の規定との重複や矛盾が発生しないよう対応していく。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.guide	新規	Guidance how to manage human exposure to EMF's	C.8

勧告案の合意状況または合意予定時期：2010

審議結果及び今後の課題：他国際機関での検討状況の確認と技術的な課題の洗い出し

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Resistibility of communication equipment
Q. 4		和訳	通信装置の過電圧耐力
WP 1	ラポータ名 (所属)		Philip DAY (Telstra, Australia) / Associate: Benjamin BARLAUD (FT, France)

課題の審議概要：

様々な通信装置のインターフェースに対する過電圧耐力規定や防護方法に関する検討及び既存勧告のメンテナンスを行っている。今会合では、多対線ポート等の試験方法に関する審議を主に実施した。

結果(全般的事項)：

審議の結果は以下の通りである。

- ① 前会合からの継続検討項目の確認がなされ、a)同軸ポートの試験方法、b) 安全規格(IEC 60950)との整合、c) 光ファイバ機器の雷害、等の課題があげられた。
- ② K.20、K.21、K.44 の内線(多対線)ポートの試験方法について議論され了承された。試験抵抗値の決定等が今後の課題となっている。
- ③ 屋外同軸ポートの過電圧試験の提案が審議され了承された。今回の提案が K.20、K.45 にも適用可能であることが示された。
- ④ Ether ポートの試験方法について審議され、WP1 で Ether ポートの耐力特性を追加すべきことが了承された。試験レベルや外線内線間の試験などについては今後の課題となっている。
- ⑤ K.44 を発行する際に、引用している K.20、K.21、K.45 も改定する必要がある。
- ⑥ その他、過電圧関連勧告に対して、試験規定を IEC の規格と整合を図ることや、判定基準の表現の明確化の提案があり了承された。

提出した寄書の成果：

提出寄書なし

今後の課題：

- ・ 安全規格 (I E C 6 0 9 5 0 - 1) のヒューズと雷サージ試験の整合

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Resistibility Guide	新規	Guide to the use of the resistibility recommendation K.20, K.21, K.44, and K.45	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題： 過電圧試験時の注意点や適用についての整理			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号

K.44	改訂	Protection of Customer Premises from overvoltages	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：同軸ポートの試験方法,			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.20	改訂	Resistibility of telecommunication equipment installed in telecommunication centre to overvoltages and overcurrents	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.21	改訂	Resistibility of subscriber's terminal to overvoltages and overcurrents	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：ヒューズに対して安全規格との整合について検討する.			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.45	改訂	Resistibility of telecommunication equipment installed in the access and trunk networks to overvoltages and overcurrents	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表团

課題番号	課題名	原題	Lightning protection of telecommunication systems
Q. 5		和訳	通信システムの雷防護
WP 1	ラポータ名 (所属)		Celio Fonseca BARBOSA (CPqD, Brazil) / Associate: Mrs Ying SHI (China)
課題の審議概要： 本課題では、通信システムの雷防護に関するリスク管理手法の検討と既存勧告のメンテナンスを行っている。今会合では、活動計画及び継続課題としてK. 46, K. 71等の改訂の審議が行われた。			
結果 (全般的事項)： 審議の結果は以下の通りである。 ① K.71の修正の必要がある箇所 (接地線の線径等) についてリストが示された。またIEC/TC64にリエゾンを送付することが了承された。 ② K. 46の改訂については、リスク評価ソフトウェアを添付して勧告化することが有効であるとの提案があり、ラポータがその検討を行うことになった。さらに、改訂時期を2010年とすることが了承された。			
提出した寄書の成果： 提出寄書無し			
今後の課題： IEC 62305シリーズ等関連する規格の検討状況を把握しながら、動向把握をする。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Handbook on Lightning	新規	Protection of telecommunication lines and equipment against lightning discharges	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.25	改訂	Protection of Optical Fibre Cable	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			
審議結果及び今後の課題：なし			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.46	改訂	Protection of telecommunication lines using metallic symmetric conductors against lightning-induced surges	TD.28
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.39	改訂	Risk assessment of damages to telecommunication sites due to lightning discharges	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.56	改訂	Protection of radio base stations against lightning discharges	TD.31
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.71	改訂	Protection of customer antenna installations	TD.38
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.72	改訂	Protection of telecommunication lines using metallic conductors against lightning – Risk management	C.4
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名: ITU-T SG 第2回会合)

提出元: 日本代表団

課題番号	課題名	原題	Bonding Configurations And Earthing Of Telecommunication Systems In The Global Environment
Q. 6 WP 1		和訳	グローバルな環境における電気通信システムのアースとボンディング
	ラポータ名 (所属)		Claude MONNEY (Swisscom, Switzerland) / Associate: Ying XIONG (China)
課題の審議概要: センタビルやユーザー環境における通信設備の接地とボンディング方法の検討、及び既存勧告、ハンドブックのメンテナンスを検討する。今会合では接地抵抗の測定方法について議論が行われた。			
結果 (全般的事項): 審議の結果は以下の通りである。 ① 韓国より「接地抵抗を測定するときの誤差に関する情報」について審議が行われた。審議の結果、より詳細な検討が必要であるため、次会合以降継続して検討していくことになった。 ② K.66 の改訂案のドラフトが次回までに用意される。 ③ 今会合ではハンドブックの改訂版を発行しないことが決定された。			
提出した寄書の成果: 提出寄書なし			
今後の課題: HVDCの接地構成技術の検討			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Earthing and Bonding Handbook	改訂	Earthing and Bonding Handbook	(05-08 period, C.44,C.52,C.53,C.66)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009			
審議結果及び今後の課題: HVDCの電圧範囲, 複数給電システム混在時の接地構成法等			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.27	改訂	Bonding configurations and earthing inside a telecommunication building	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010			
審議結果及び今後の課題: 動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Home Networks
Q. 8		和訳	ホームネットワーク
WP 2	ラポータ名 (所属)		R. Kobayashi (NTT) / Associate:Ms Xia ZHANG (China)
課題の審議概要： 本課題では、ホームネットワークのEMC問題について審議を行い、前会期には、新勧告K.74が成立している。今会期では、引き続きホームネットワークの電磁環境やEMC問題に対しての課題を検討するとともに、新たな項目として、広帯域ノイズによるイミュニティ試験等についても検討を行う予定である。			
結果 (全般的事項)： 審議の結果は以下の通りである。 ① CISPR35で議論されている広帯域ノイズに対するxDSLのイミュニティ試験法を用いて、VDSLシステムで発生する映像の品質劣化についての報告があった。報告の内容は、今後の審議においても重要な課題となるということでした。 ② 中国から、ホームネットワークにおけるEMCの現象やAC/DCアダプタから混入する妨害波についての報告があり、今後の勧告k.henvの審議においては、このような妨害波も含めた検討を行うことが了承された。 ラポータから勧告K.imm_bbのドラフト第1版が提出された。次回の会合までに、SG5のメンバで内容を検討し、事務局にコメントや意見をEメールで送ることとなった。			
提出した寄書の成果： <ul style="list-style-type: none"> ・ C 20 「広帯域インパルスによる伝導妨害」 VDSLシステムにおいて、広帯域ノイズの影響で発生する映像の品質劣化現象について報告した。今回提出した寄書によって、これまでCISPRおよびITU-Tにおいて提案されている試験法は、対象装置に対して非常に厳しいことが示され、これとは別に英国からも修正の意向があることが示された。本寄書は今後の議論のベースとして効果的に寄与すると考えられる。 ・ K.im_bb 「広帯域ノイズに対するホームネットワークのイミュニティ」 広帯域ノイズに対するホームネットワークのイミュニティについての新たな勧告を規定するため、勧告K.im_bbの第1版を提出した。これにより、ホームネットワークのイミュニティに関する意見やコメント等が各国から収集可能となり、勧告成立へ向けて第一歩を踏み出すことができた。 			
今後の課題： <ul style="list-style-type: none"> ・ 広帯域ノイズに対するイミュニティ試験方法の具体的な検討と提案 ・ CISPRでの標準化動向等、他の国際機関や他SGでの検討状況の把握 			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.im_bb	新規	Immunity to Broadband disturbances for home network devices	TD.30
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：広帯域ノイズに対するイミュニティ試験法の検討.			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.henv	新規	Conducted and Radiated electromagnetic environment in home networking	TD.380 (05-08会期)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：電磁環境の測定事例のさらなる収集			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.74rev	改訂	EMC, Resistibility, and Safety requirements and procedure for Home networks	TD.380 (05-08会期)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012年			
審議結果及び今後の課題：現状は特になし.			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名: ITU-T SG 第2回会合)

提出元: 日本代表団

課題番号	課題名	原題	Interference to telecommunications networks due to power systems and electrified railway systems
Q.9 WP 1		和訳	電気通信網に対する電力線及び電鉄からの妨害
	ラポータ名 (所属)	Livio ZUCHELLI (SIRTI, Italy) / Associate: György VARJU (MT, Hungary)	
課題の審議概要:			
電力及び電鉄からの誘導による妨害, 安全に関する検討と既存勧告及び指示書のメンテナンスを行っている。今会合では, 主に, 新勧告K.hvpsに関連して, 発電所・変電所における接地点電位上昇についての審議が行われた			
結果 (全般的事項):			
ラポータが会合に参加できなかったため, アソシエイトラポータがアクティブラポータとなり, 審議が行われた。			
① アクティブラポータにより, 4月にミラノで開催されたCIGRE JWG C4.207会合の結果が報告された。			
② アクティブラポータより, 新勧告K.hvpsに関連して, 変電所におけるアースインピーダンスの測定結果や, 接地点電位上昇のシミュレーション結果等の報告があり, 内容について合意された。			
③ 韓国から, ATキ電方式の架線から通信線に誘導される誘導電圧の測定結果が紹介された。			
提出した寄書の成果:			
提出寄書なし			
今後の課題:			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hvps	新規	Protection of telecommunication installations in High Voltage Power Stations	(05-08 period, TD.632. TD.708)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009			
審議結果及び今後の課題: 日本の状況の正確な反映			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.int	新規	Limits of interference on telecommunication transmissions on copper other than speech	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
審議結果及び今後の課題: 日本における現状調査と分析。			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名: ITU-T SG 第2回会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Outside and indoor network elements for broadband applications
Q.10 WP1		和訳	広帯域アプリケーションに対する屋内外のネットワーク構成
	ラポータ名 (所属)	Ho Seok OH (KT, Korea) / Associate: Zander ARAUJO (Brazil)	

課題の審議概要:

広帯域網におけるメタル網の設計・構成建設及び試験・保守方法に関する課題を取り扱う。今回会合において提出された資料はなく、ラポータより、前回会合の状況やL19の検討状況に関する概要説明が行われるに留まった。

結果 (全般的事項):

進捗なし

提出した寄書の成果:

提出寄書なし

今後の課題:

動向把握

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.19rev	改訂	Multi-pair copper network cable supporting shared multiple services such as POTS, ISDN, xDSL	(05-08 period, TD.221/SG6)

勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010

審議結果及び今後の課題: 動向把握

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.bb_test	新規	Test procedures and specifications for broadband network elements such as connection hardware, cables, wires and other elements	

勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011

審議結果及び今後の課題: 動向把握

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.75rev	改訂	Test acceptance and maintenance methods of copper subscriber pairs, indoor network and structured cabling	

勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011

審議結果及び今後の課題: 動向把握

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.76rev	改訂	Developing the copper loop requirements, including indoor and structured cabling, for various access technologies	

勧告案の合意状況または合意予定時期: 2012

審議結果及び今後の課題: 動向把握

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Safety in the Telecommunications Networks
Q.11		和訳	電気通信網における安全
WP 1		ラポータ名 (所属)	Philip DAY (Telstra, Australia) / Associate: Zhihui WANG (ZTE, China)
課題の審議概要： 電気通信設備に対する安全規定と安全作業手順に関する検討、及び既存勧告のメンテナンスを行う。今会合では、K.50及びK.51の改訂、K.injuryの草案等について審議が行われた。			
結果(全般的事項)： ①K.50の改訂に関して、RFT-C回路のcapacitance limitの線を削除する提案と、作業者のリスクの観点からその提案に反対するドイツコメントについて審議が行われた。その結果、RFT-C回路のcapacitance limitに関する修正は実施しないことが合意された。 ②IEC60950-1に基づきK.51に害虫被害に関する規定を盛り込む提案が行われ合意され、AAP手続きを開始することとなった。 ③K.injuryの最初の草案に関して審議が行われ、次会合までにコメントをe-mailでラポータに送付するよう要請された。 ④RFT-C回路のcapacitance levelに関して、IEC/TC108とTC64にリエゾン文書を発出することとなった。			
提出した寄書の成果： 提出寄書なし			
今後の課題： IECの規定との整合性を確認し、不合理な点がないように対応する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.inj	新規	Reduction of risk of injury to people due to overvoltages and overcurrents on telecommunication lines due to lightning	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：安全規定との整合性についてさらに精査する			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mag	新規	Evaluation techniques and working procedures for compliance with limits to power-frequency magnetic field exposure of network operator personnel.	(05-08 period, TD.680)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年			
審議結果及び今後の課題：日本の状況の把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.51	新規	Safety criteria for telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			

審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.50	新規	Safe limits of operating voltages and currents for telecommunication system powered over the network	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	EMC Telecommunications Recommendations
Q.12		和訳	電気通信のEMC勧告
WP 2	ラポータ名 (所属)		Paolo GEMMA (Huawei, Italy) / Associate: Boban PANAJOTOVIC (Serbia)
<p>課題の審議概要：</p> <p>新たな通信装置、通信サービスに対応したEMC規格の検討と既存EMC勧告のメンテナンスを行う。今会合では、主に継続課題についての審議を行った。</p>			
<p>結果(全般的事項)：</p> <p>審議の結果は、以下の通りである。</p> <p>① K.NGN について、中国(ZTE)からパケット伝送ネットワーク(PTN)装置の試験方法および性能規定に関する提案があった。審議の結果、新勧告 K.NGN に提案を盛り込む方向で検討することが了承された。</p> <p>② 勧告 K.43 の改定に関する前回会合の議論を受けて、中国(MIIT)から昨今の無線サービスを考慮に入れ、イミュニティ試験の上限周波数を引き上げるべきとの提案があった。審議の結果、K.43 の改定に反映していくことが了承された。</p> <p>③ 勧告 K.43 の改定に関する上記審議の結果を反映し、イミュニティ試験の周波数として 1GHz から 2.7GHz までを追加することなどの修正を加えた勧告案が作成され審議された。その結果、WP2 にて本勧告案を Consent することが合意され、AAP 手続きを開始することとなった。</p> <p>④ 1GHz から 6 GHz における EMC 規格を定めた K.high のドラフト案に関する審議が行なわれ、いくつかのエディトリアルな変更、校正が行なわれた上で、本勧告案が Consent され、AAP 手続きを開始することとなった。</p> <p>⑤ NGN に関連したフォーカスグループの立ち上げに関する SG13 からのリエゾンに対して、SG5 では課題に対する主旨のリエゾン文書を返信することとなった。</p>			
<p>提出した寄書の成果：</p> <p>提出寄書無し</p>			
<p>今後の課題：</p> <p>動向把握</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.high	改訂	EMC requirements for each telecommunication equipment - performance at high frequency (1GHz-6GHz)	

勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年5月（今会合で合意）			
審議結果及び今後の課題：AAP			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.34	改訂	Classification of electromagnetic environmental conditions for telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.43	改訂	Immunity requirements for telecommunication equipment	TD.163rev.1
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年5月（本会合にて合意）			
審議結果及び今後の課題：AAP			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.NGN	新規	EMC requirements for Next Generation Network equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.48 appendix	新規	Elevated radio frequency radiated immunity levels for telecommunication network equipment to protect against interference due to nearby use of mobile telecommunication	(05-08 period, TD.689)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009-2010年			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.76	改訂	EMC requirements for telecommunication network equipment (9 kHz-150 kHz)	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011年			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.48	改訂	EMC requirements for telecommunication equipment - Product family Recommendation	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011年			
審議結果及び今後の課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.18	改訂	Calculation of voltage induced into telecommunication lines from radio station broadcasts and methods of reducing interference	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012年			
審議結果及び今後の課題：			

（注）各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Protective Components and Assembly
Q.13		和訳	防護素子とアセンブリ
WP 1	ラポータ名 (所属)	Gerhard ACKERMANN (DT, Germany) / Associate: Michael MAYTUM (UK)	
<p>課題の審議概要：</p> <p>過電圧防護素子の試験方法について審議を行っている。前会期の継続として防護素子毎に10の勧告作成を予定している。今回の会合では、K.28, K.ocpのコンセントに向けた審議を中心として会議が行われた。</p>			
<p>結果 (全般的事項)：</p> <p>審議の結果は以下の通りである。</p> <p>① K.28(半導体アレスタの特性)及び K.ocp(自己復旧形過電流防護素子)については、10月の会合でのコンセントにむけ、内容の完成度を高めていくことが了承された。</p> <p>② K.ocp のドラフトが提示され審議が行われた。K.ocp のタイトルが”Solid-state, self-restoring overcurrent protector requirements for the protection of telecommunications installations”(電気通信設備を保護するための半導体素子を使用した自己復旧形過電流防護素子の要求事項)に変更された。K.ocp へのコメントは7月31日を締め切りとし、最終的な草案が8月28日までにSG5に送付されることとなった。K.30はK.ocpが承認された後に削除予定。</p> <p>③ K.65 (SPD又は試験ポートに接続するターミネーションモジュールの過電圧、過電流規定)について、次回の会合までに新しいドラフト案が用意される。</p> <p>④ K.77のエディトリアルな修正が了承された。</p>			
<p>提出した寄書の成果：</p> <p>提出寄書なし</p>			
<p>今後の課題：</p> <p>動向を把握し、技術的に不合理なものとならないよう対処する。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.28rev	改訂	Characteristics of semiconductor arrester assemblies for the protection of telecommunication installation	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号

K.ocp	新規	Self-restoring overcurrent protectors	(05-08 period, TD.485,C.39)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.65rev	改訂	Overvoltage and overcurrent requirements for termination module with contacts for test ports or SPDs	TD.37
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Guides and terminology
Q.14		和訳	ガイドと用語の定義
SG5	ラポータ名 (所属)	Mr. Michael MAYTUM (Bourns Ltd., UK) / Associate: György VARJU (Hungary)	
<p>課題の審議概要：</p> <p>勧告Kシリーズの中で使用されている用語の定義について検討を行っている。制改訂された勧告の活用方法や用語の定義についてまとめて、Kシリーズ勧告のガイドと用語の定義集を作成している。今会合では、活動計画とKシリーズ勧告の追加・削除に伴う用語定義の修正やガイドの修正案について審議された。</p>			
<p>結果 (全般的事項)：</p> <p>審議の結果は以下の通りである。</p> <p>①活動計画については、了承された。</p> <p>②Kシリーズのガイダンスの改定案とKシリーズでの用語集の改定案がラポータより提出され、審議された。審議の結果、提案通りで了承された。</p>			
<p>提出した寄書の成果：</p> <p>提出寄書無し</p>			
<p>今後の課題：</p> <p>動向を把握し、勧告の目的、用語の定義等で問題がないか確認していく。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K-series vocabulary	改訂	K-series vocabulary	TD.91
勧告案の合意状況または合意予定時期：09-12会期、適宜			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Guide to K-series Rec.	改訂	Guide to K-series Recommendations	TD.90
勧告案の合意状況または合意予定時期：09-12会期、適宜			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表团

課題番号	課題名	原題	Security of Telecommunication and Information Systems regarding the Electromagnetic Environments
Q.15 WP1&2		和訳	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ
	ラポータ名(所属)		Tetsuya Tominaga(NTT)、Associate: H.Sekiguchi(NICT)

課題の審議概要：

電気通信設備の電磁波的なセキュリティ課題の検討として、高々度電磁パルスや高出力電磁パルスに対する防護方法、情報漏洩の検討と勧告化、セキュリティ評価方法(シールド等)や対策方法の検討と勧告化を審議している。今回の会合では、主にK.hpemのコンセントに向けた審議を集中的に行った。

結果(全般的事項)：

審議の結果は以下の通りである。

- ① 日本より提案されたK.hpemの勧告案に関して審議が行なわれた。その結果、いくつかのエディトリアルな修正、変更が詳細にわたって行なわれたが、日本から提案した基本方針はそのまま合意され、SG会合で勧告案がConsentされた。
- ② SG17からのリエゾンにより、2009-2012年会期のセキュリティ関連のcontact personがMr. Antonio Guimaraesである旨の紹介があった。これに対し、同会期のSG5のcontact personをMr Darren Carpenterとすることが承認され、SG17にリエゾンを送付した。

提出した寄書の成果：

TD.146「勧告草案K.hpem」

日本から提案した改訂勧告案をベースに議論が行われ、日本の意向を反映した形でコンセントされた。

今後の課題：

K.leakageについて勧告化を促進するとともに、専門家以外でも理解しやすい構成にするための見直し作業等を実施する。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hemp	新規	Application of requirements against HEMP to telecommunication systems	TD.35rev. 4
勧告案の合意状況または合意予定時期：2008年11月合意			
審議結果及び今後の課題：AAP			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hpem	新規	Application of requirements against HPEM to telecommunication systems	TD146 rev2
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年5月合意			

審議結果及び今後の課題：AAP			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.sec	新規	Guide for risk assessment and applicatin of security requirements concernig electromagnetic phenomena. – Basic Recomendatin	(05-08 period, TD.693)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：セキュリティの考え方の整理、他の検討との整合性の検討			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.leakage	新規	Test method and requirements against information leak through unintentional EM emission	(05-08 period, TD.687)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009年			
審議結果及び今後の課題：評価方法の精査			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	EMC Requirements for the Information Society
Q.16		和訳	情報化社会のEMC
WP 2	ラポータ名 (所属)		Li XIAO (China) / Associate : Lin GUO (China)

課題の審議概要：

各種無線システムにおける EMC 問題について検討を行っている。今回の会合においては、中国から提案された基地局アンテナ間のアイソレーションに関する審議や、融合端末の相互干渉による性能劣化評価の試験法に関する勧告草案 K.deg についての審議が行われた。

結果 (全般的事項)：

- ① 無線基地局アンテナ間のアイソレーションに関する技術要件について中国から提案があり、基地局アンテナ間のアイソレーションに関しては、ITU-R でも同様の議論が行われている可能性が高いため、ITU-R に対してリエゾン文書を送ることとなった。
- ② ラポータより新勧告 K.deg の構成案についての提案があった。どのようなモジュールを対象とするか等の議論が行われ、今後は e メールを活用して勧告化に向けた進捗を図ることで合意された。

提出した寄書の成果：

提出寄書なし

今後の課題：

動向を把握し、技術的に不合理なものとならないよう対処する。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.ant	新規	Isolation requirements of Base station antennas when co-located with other telecommunication systems	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011年			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.deg	新規	Mutual interference test requirements for performance degradation of converged terminal devices	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010年			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式 7)

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG5 第2回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	ICT and Climate Change
WP3		和訳	ICTと気候変動
(17~21)	WP議長名 (所属)		Keith Dickerson (BT)

課題の審議概要：TSAGの結果を受けた第1回のWP会合であり、気候変動課題を扱うWP3における新課題記述テキストを完成させ、新体制を確立する。

結果 (全般的事項) :

- ・ 新課題構成として以下の5課題が合意された。課題記述の詳細文章はTD211 Rev 1としてまとめられている。
 Q17/5 : Coordination and Planning of ICT&CC related standardization
 Q18/5 : Methodology of environmental impact assessment of ICT
 Q19/5 : Power feeding systems
 Q20/5 : Data collection for Energy Efficiency for ICTs over the lifecycle
 Q21/5 : Environmental protection and recycling of ICT equipments/facilities
- ・ 新WP3のマネジメント構成として役職者が指名され、日本からはWP副議長に折口 (NTT)、Q18/5のアソシエイトラポータに端谷 (富士通)、Q19/5ラポータに朝倉 (NTT) が選任された。(他国のラポータ/アソシエイトラポータは【参考2】を参照。)
- ・ リエゾンに関する主要課題
 GSMAから携帯電話用の統一充電用インタフェース (Universal Charging Solution) の採用に対する支持を求めるリエゾンが送付され、前向きに検討する旨のリエゾンを返信することを合意するとともに、今後SG5では、リサイクルと環境の観点から、GSMAの提案を基にした携帯端末アダプタ要求条件に関する勧告草案の検討を行う方向性を確認した。
- ・ ICT気候変動に関するJCAの設立準備会合が開催され、第1回JCA (10月のSG5期間中) 開催に向け各SGにコンタクトパーソンを求めるリエゾンを送付することとした。また、第1回のJCA会合を次回のSG5会合期間中に開催する案内を関連標準化組織にリエゾンを送付することになった (TD216)。
- ・ 次回のSG5会合まで、WP3に関する中間会合の予定はない。
- ・ 次回のSG5会合期間中に、参加者向けの気候変動に関するテクニカルセッションの開催を合意した。内容としては、フォーカスグループの成果を中心とした勉強会の予定である。

提出した寄書の成果 :

- ・ 寄書C24 (NTT, FT, BT Fujitsu)については、提案通り全て新課題として反映させることができた。

今後の課題 :

- ・ 課題が設立され、次回会合から、Work Planで示された勧告草案の詳細検討が開始される。フォーカスグループのデリバラブル文書をベースに具体的な勧告草案の提案が期待される。
- ・ 次回会合において、GSMAに関する携帯端末アダプタ勧告草案の進展が予想されるので、日本としての対処方針の確認が望まれる。

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予 定時期	エディタ (所属国)	①審議結果 ②今後の課題
K.12 rev		Characteristics of gas discharge tubes for the protection of telecommunications installations	TD166	2010		①次回会合までにラポータがドラフトを提出。 ②特に無し
K.20	改訂	Resistibility of telecommunication equipment installed in a telecommunications centre to overvoltages and overcurrents	TD135	2011	Philip Day	①K.44 2008の改訂に合わせて変更 ②Ether、同軸ポート等の試験方法の規定
K.21	改訂	Resistibility of telecommunication equipment installed in customer premises to overvoltages and overcurrents	TD135 TD157	2011	Philip Day	①K.44 2008の改訂に合わせて変更 ②Ether、同軸ポート等の試験方法の規定。ヒューズに対して安全規格との整合。
K.25	改訂	Protection of optical fibre cables				①審議なし ②特に無し
K.27	改訂	Bonding configurations and earthing inside a telecommunication building		2011		①審議なし ②特に無し
K.28 rev		Characteristics of semiconductor arrester assemblies for the protection of telecommunications installations	TD166	2009.10		①次回会合までにラポータがドラフトを提出。 ②特に無し。

K.30		Self restoring overcurrent protectors deletion of this Rec. according to the AAP-outcome of K.ocp	COM 5 – C 38 – E	2009.5		①K.ocp成立後、現K.30差し替えが合意 ②特に無し
K.35	改訂	Bonding configurations and earthing at remote electronic sites		2011		①審議なし ②特に無し
K.36		Selection of protective devices		2011		①審議なし ②特に無し
K.39	改訂	Risk assessment of damages to telecommunication sites due to lightning discharges				①審議なし ②特に無し
K.43	改定	Immunity requirements for telecommunication equipment	TD143 TD163	2009.5		①試験条件の妥当性等が確認されAAP合意
K.44	改訂	Resistibility tests for telecommunication equipment exposed to overvoltages and overcurrents – Basic Recommendation	TD136 TR157	2011	Philip Day	①K.44の修正候補がリストで提示 ②Ether、同軸ポート等の試験方法の規定
K.45	改訂	Resistibility of telecommunication equipment installed in the access and trunk networks to overvoltages and overcurrents	TD135 TD137 TD156	2011	Philip Day	①K.44 2008の改訂に合わせて変更 ②Ether、同軸ポート等の試験方法の規定
K.46	改訂	Protection of telecommunication lines using metallic symmetric conductors against lightning-induced surges				①ラポータがソフトウェアの製造プランを提出することが求められた。 ②特に無し

K.50	改訂	Safe limits of operating voltages and currents for telecommunication systems powered over the network.	TD118 TD145	2009	Philip Day	① 改訂せず ① 特になし
K.51	改訂	Safety criteria for telecommunication equipment	TD147R1	2009	Philip Day	① 害虫被害に関する規定を盛り込む改訂を実施する。 ②特になし
K.52	訂正	Guidance on complying with limits for human exposure to electromagnetic fields	COM5-C30-E	2009.5		① 正誤表を発行する。 ② 特になし
K.56	改訂	Protection of radio base stations against lightning discharges				①審議なし ① ②特に無し
K.61		Guidance to measurement and numerical prediction of electromagnetic fields for compliance with human exposure limits for telecommunication installation		2008		② 審議なし ③ 特になし
K.64	改訂	Safe working practices for outside equipment installed in particular environments.		2010	Philip Day	① 審議なし ① 特になし
K.65		Overvoltage and overcurrent requirements for termination modules with contacts for test ports or SPDs		2009		①次回会合までにラポータがドラフトを提出。 ②特に無し
K.66	改訂	Protection of customer's premises from overvoltages	TD139	2011		①IECとの関係を踏まえて今後の修正の可能性を示唆 ②特に無し

K.70		Mitigation techniques to limit human exposure to EMF's within vicinity of radiocommunication	TD173			①解析用ソフトウェアについて付録へ記載 ②特に無し
K.71	改正	Protection of customer antenna installations	TD133 TD198	2010	Célio Barbosa	①TC64へのリエゾン提出 ②特に無し
K.72	改訂	Protection of telecommunication lines using metallic conductors against lightning – Risk management				①審議なし ②特に無し
K.73	新規	Shielding and bonding for cables between buildings		2011		①審議なし ②特に無し
K.75	改訂	Classification of interface for application of standards on resistibility and safety of telecommunication equipment		2011	Philip Day	① 審議なし ② 特になし
K.77	改正	Characteristics of metal oxide varistors (MOVs) for the protection of telecommunications installations	TD160	2010		① TSBが改正の準備を行う。 ②特に無し
K.80 (K.high)	新規	EMC requirements for telecommunication network equipment (1 GHz - 6 GHz)	TD164	2009.5		①前回会合の議論を踏まえた改定版についてAAP合意
K.guide	新規	Guidance how to manage humane exposure to EMF's	COM5-C22-E COM5-C29-E COM5-C31-E COM5-C32-E COM5-C33-E	2010		①寄与文書を盛り込んだ勧告案を作成する。 ②長期暴露の自動測定法、測定時間短縮方法の扱いを決める。

K.inj	新規	Reduction of risk of injury to people (telecom personnel and user of the telecom network) due to overvoltages and overcurrents on telecommunication lines due to lightning	TD132	2010	Philip Day	① 次会期までにコメントが要請された。 ② 特になし
K.mag	新規	Evaluation techniques and working procedures for compliance with limits to power-frequency magnetic field exposure of network operator personnel.		2009	Fryderyk Lewicki	① 審議なし ② 特になし
Handbook on Lightning	新規	Protection of telecommunication lines and equipment against lightning discharges				①審議なし ②特に無し
Earthing and Bonding Handbook	改訂	Revision of the Earthing and bonding Handbook approved in 2003	TR161 TD 191 C27	2009		①審議なし ②特に無し
K.appl		Application of Surge Protective Devices		2010		①審議なし ②特に無し
K.spd		Basic requirements for Surge Protective Devices		2010		①審議なし ②特に無し
K.spc		Basic requirements for Surge Protective components		2011		
Directives Volume VIII		Revision of this Volume		2012		①審議なし ②特に無し

(注1) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(注2) 検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

WP3勧告ワークプラン案一覧（正式な勧告案ではなく検討促進の目的で作成）

勧告番号	種別	勧告名（日本語名）	関連文書番号 （更新時期）	合意予定 時期	エディタ （所属国）	①審議結果 ②今後の課題
Handbook on climate change	新規			2012		Q17/5
Handbook on Key mitigation technique	新規			2012		Q17/5
L.methodology	新規			2012		Q18/5
L.collecting	新規			2012		Q18/5
Handbook databases	新規			2012		Q18/5
L.specHVDC	新規			2011		Q19/5
L.safePowerfeed	新規			2012		Q19/5
L.architecture	新規			2012		Q19/5
L.performance	新規			2011		Q19/5
Handbook- Metrics	新規			2012		Q 20/5
Handbook-Quest	新規			2012		Q 20/5
Handbook- Analysis	新規			2012		Q 20/5
L.adapter	新規			2010		Q21/5
L.lca	新規			2011		Q21/5
L.recy	新規			2011		Q21/5
Handbook of environmental sustainability in outside plant and ICT equipments/ facilities	新規			2012		Q21/5

（注1）種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

（注2）検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

【参考】ITU-T会合への提出寄書一覧
(会合名：ITU-T SG5 第2回全体会合)

	寄 書 名 (和訳)	関連課題番号	分類	提出元 (原案作成元)	備考
1	Draft Recommendation K.im_bb – “Immunity to Broadband disturbance for home network device” (ホームネットワークへの広帯域妨害波へのイミュニティ法)	8	C	Rappoteur on Q. 8 (NTT)	
2	Test results of “Broadband impulsive conducted disturbances” (広帯域ブロードバンドインパルス伝導妨害の試験結果)	8	C	CIAJ, NTT	
3	Draft Recommendation K.hpem (勧告草案 K.hpem)	15	B	Rappoteur on Q. 15 (NICT, NTT)	
4	Proposed new questions and their related Study Groups on ICT and Climate Change (ICTと気候変動に関する新規課題提案)	All/5	A	NTT, FT, BT, 富士通	
5					
6					
7					
8					
9					
10			A		
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

(注) 分類の欄には、A：問題提起のための寄書、B：新規勧告草案提示の寄書、C：既存勧告案に対する審議進捗のための寄書のいずれかを記入すること。また、寄書の原案作成元と提出元が異なる場合は、原案作成元を括弧書きで併せて記載すること。

【参考2】WP の構成と課題, ラポーターリスト

課題番号	課題名	ラポータ/ アソシエイトラポータ
SG 直属		
課題14	ガイドと用語の定義	Michael MAYTUM (Bourns Ltd., UK) / György VARJU (MT, Hungary)
WP1 の課題		
課題4	通信装置の過電圧耐力	Philip DAY (Telstra, Australia) / Benjamin BARLAUD (FT, France)
課題5	通信システムの雷防護	Celio Fonseca BARBOSA (CPqD, Brazil) / Mrs Ying SHI (China Telecom, China)
課題6	グローバルな環境における電気通信システムのアースとボンディング	Claude MONNEY (Swisscom, Switzerland) / Ying XIONG (China)
課題9	電気通信網に対する電力及び電鉄からの妨害	Livio ZUCCHELLI (SIRTI, Italy) / György VARJU (MT, Hungary)
課題10	広帯域アプリケーションに対する屋内外のネットワーク構成	Ho Seok OH (KT, Korea) / Zander ARAUJO (Brazil)
課題11	電気通信網における安全	Philip DAY (Telstra, Australia) / Zhihui WANG (ZTE, China)
課題13	防護素子とアセンブリ	Gerhard ACKERMANN (DT, Germany) / Michael MAYTUM (Bourns Ltd., UK)
WP2 の課題		
課題1	通信ネットワークの自由化により発生するEMC問題	Fantao MENG (Huawei, China) / Li XIAO (China)
課題2	広帯域アクセスシステムに関するEMC	Darren CARPENTER (BT, UK) / Victor VELLANO NETO (Brazil)
課題3	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露	Fryderyk LEWICKI (TP, Poland) / Tariq AL-AMRI (Saudi Arabia)
課題8	ホームネットワーク	小林隆一 (NTT, 日本) / Ms Xia ZHANG (China)
課題12	電気通信のEMC勧告	Paolo GEMMA (Huawei, China) / Boban PANAJOTOVIC (Serbia)
課題15	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ	富永哲欣 (NTT, 日本) / 関口秀紀 (NICT, 日本)
課題16	情報社会のEMC規定	Li XIAO (China) / Lin GUO (China)
WP3 の課題(本 SG5 会合にて新規に設定)		
課題17	「ICT と気候変動」の標準化に関するコーディネイトと計画	Paolo Gemma (Huawei, China) / Franz Zichy (USA)
課題18	ICT 環境影響評価手法	Jean-Manuel Canet (FT, France) / 端谷隆文 (富士

		通, 日本)
課題19	給電系	朝倉薫 (NTT, 日本) / (Acting) Didier Marquet (FT, France)
課題20	ICT のエネルギー効率に関するデータ収集	Gilbert Buty (Alcatel-Lucent, France) / David Faulkner (BT, UK)
課題21	環境保護と ICT 機器や設備のリサイクル	Didier Marquet (FT, France) / Li Xiao (China)